## うすい正一 プロフィール

令和8年10月現在

●習志野市生まれ千葉市育ち ●市立検見川小学校、花園中学校、市川高校 ●日本大学文理学部 ●株式会社オリエンタルランド勤務 ●父 元衆議院議員臼井日出男のもとで政治を学ぶ ●千葉県議 5期 ●令和4年7月 参議院議員選挙で656,952票を頂きトップ当選
●国土交通委員会 ●行政監視委員会 ●政治改革に関する特別委員会 ●政府開発援助及び国際協力・人道支援等に関する特別委員会(理) ●憲法審査会
【その他の役職】●(公財)千葉県肢体不自由児協会 理事長 ●(公財)日本武道館評議員 ●(一社)千葉県野球協会 会長 ●千葉県バウンドテニス協会 会長 ●千葉県綱引連盟 会長 ●(一社)千葉県障がい者卓球協会 会長 ●(一社)千葉県トライアスロン連合 名誉会長 ●千葉縣護國神社奉賛会 会長 ●千葉県ゲートボール連盟 会長 ●(一社)千葉県バトン協会 会長 ●(社福)春陽会 理事長 ●千葉ネオライオンズクラブ その他



自由民主党千葉県参議院選挙区第八支部

# 参議院議員 うすい正一（しょういち）

## 参議院レポート Vol.10

討議資料

過去分の参議院レポート(Vol.1～9)はこちらから⇨ 活動報告 https://shoichi.info/activities/

うすい正一HP、各SNSをぜひご覧ください!

ホームページ　Facebook　X(旧Twitter)　YouTube


千葉事務所 〒261-0004 千葉市美浜区高洲1-9-7-2
TEL: 043-244-0033 FAX: 043-244-2200
URL: https://shoichi.info E-mail: info2@shoichi.info

国会事務所 〒100-8962 千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館909号室
TEL: 03-6550-0909 FAX: 03-6551-0909



発行:自由民主党千葉県参議院選挙区第八支部 千葉市美浜区高洲1-9-7-2 TEL:043-244-0033


## 対談 片山さつき財務大臣面会 9月30日



### 災害からの復旧復興支援のお願い

**臼井正一** 8月以降、千葉県内では豪雨や台風による被害が相次ぎ、今なお復旧作業が続く地域があります。財務省としても、復旧・復興予算の確保をはじめ、被災自治体や住民の皆様への最大限のご支援をお願いいたします。まずは、政府としての支援に対する大臣のお考えをお聞かせください。

**片山大臣** 千葉をはじめとする各地の豪雨被害で被災された全ての方々に心からお見舞いを申し上げます。

各地で発生した豪雨被害への対応については、これまでも、政府として関係府省庁で緊密に連携し、災害救助法や被災者生活再建支援法を適用して、被災者の皆様の応急救助や生活再建支援を迅速に進めてきました。また、被災自治体に対しては、必要に応じて普通交付税の繰上げ交付の措置も↘実施するなど、高市内閣として、できる限りの対応をしてまいりました。

被災された方々が安心して復旧・復興に取り組むことができる環境を整えることが何より重要であると考えており、引き続き、関係省庁と緊密に連携して、被害の全容を十分に把握し、被災自治体や住民の皆様のニーズを踏まえつつ、必要な措置をしっかりと講じてまいります。

### 日本の勝ち筋

**臼井正一** 改めて、財務大臣のご再任、おめでとうございます。私が県議会議員の頃から大臣にはよくお会いしており、参院当選後も千葉の後援会の皆さんを交えて家族ぐるみでお付き合いいただいています。この場を借りて感謝申し上げます。

大臣は高市総理が目指す「強く豊かな日本」を実現するため、責任ある積極財政の実務の要として獅子奮迅のご活躍です。私も大いに期待しております。まず、その実現に向けた令和9年度予算編成のポイントを、分かりやすくお聞かせください。↖



**片山大臣** 高市内閣の経済財政運営は、「責任ある積極財政」の下、「強い経済」の構築と「財政の持続可能性」を両立する「タカイチノミクス」を追求するものです。これを具体化し、実現していく上で極めて重要になるのが、初めて政権として最初から本格的に取り組む令和9年度予算編成です。

このため、私は本年6月の経済財政諮問会議において「予算編成改革」案を提案しました。「骨太方針2026」にも反映された、この「予算編成改革」を着実に実行することが、私に課せられた最重要課題であると考えています。

令和9年度予算については、概算要求の基本的な方針で、『「強く豊かな日本」投資枠』という、これまでにない画期的な枠組みを創設するなど、必要な予算要求を十分に行える仕組みとしました。これにより、シーリングがあるから、良いアイデアがあるのに要求しないというのではなく、良いアイデア・良い政策であれば、本当に必要な予算額を要求して良いというルールに転換しています。他方で、それらが全部認められるわけではなく、予算編成過程において、成長への寄与、↘民間投資の誘発効果等を精査し、「その政策が真に効果的なものかどうか」についてしっかり見ていきます。

さらに、恒常的な施策については当初予算で措置することにより、従来続いていた、大規模経済対策に基づく補正予算に依存した財政運営からの脱却も進めていきます。補正予算は、どうしても短い期間での編成とならざるを得ませんが、これを当初予算編成のプロセスに組み込むことにより、今まで以上に時間を掛けて議論を重ねることが可能となります。



こうした予算編成のプロセスと並行して、「日本版DOGE」の取組、すなわち租税特別措置・補助金・基金の見直しを徹底することにより、優先順位を洗い直し、中身を重点化していきます。税外収入についても、更なる歳入確保の取組をゼロベースで進めていきます。

そのうえで、債務残高対GDP比を安定的に引き下げることを財政運営の中核とし、その中でも可能となる財政規模を精査し、通年の国債発行額などを具体化していく方針↘です。こうした政府の方針について、マーケットからの信認を確保し、市場の秩序を維持できるよう、引き続き関係者に対して丁寧に説明していきます。

**臼井正一** 一方で、若い世代の将来への不安も根強いものがあります。少子高齢化による社会保障の持続性への不安、実質賃金が伸び悩む中での物価上昇、そして将来世代へのツケ回しとなる財政赤字への懸念など、挙げれば切りがありません。



こうした不安を払拭するためには、闇雲な支出拡大ではなく、日本が世界に伍していける「勝ち筋」を見出し、そこに大胆かつ集中的な投資を行うことが重要と考えます。例えば、次世代エネルギーの柱となり得るペロブスカイト太陽電池、全固体電池による蓄電技術の革新、そして資源安全保障の切り札となるメタンハイドレートなど、日本の技術力を生かせる分野への戦略的投資です。こうした「未来への投資」こそが責任ある積極財政の本質だと考えますが、大臣のお考えをお聞かせください。

**片山大臣** 私は、これまで、高市内閣の「責任ある積極財政」は、「プロアクティブ」であって「エクスパンショナリー」ではない、ということを国内外で説明してきました。まさに、うすいさんがおっしゃるとおり、未来を見据えて、様々なリスクや社会課題に対し、先手を打って戦略的な投資を行っていく、というのが「責任ある積極財政」のコンセプトです。これは、決して、いたずらに拡張的な予算規模を追求するものではありません。体脂肪を蓄えるのではなく、筋肉質な「強い経済」を実現するため、ターゲットを絞った大胆かつ重点的な投資を、官民が一体となって進めていく、というものであり、こうした産業政策は世界的な潮流になっています。

これまでの産業政策は「官主導」であったため、「政府に目利きができるのか」と言われてきましたが、今年7月に高市内閣が策定した「日本成長戦略」では、厳選した戦略17分野について、それぞれ「ワーキンググループ」を設置した上で、延べ186人の学識経験者や企業関係者などが参加し、54回にも及ぶ議論を積み重ねた結果、まさしく産学官が総力を結集して練り上げた、日本の「勝ち筋」が示されています。

その中には、うすいさんが挙げられた「ペロブスカイト太陽電池」なども含まれています。従来のシリコン太陽電池は、中国が世界シェアの8割を占めていますが、ペロブスカイト太陽電池については、軽量で折り曲げることができるという、シリコン太陽電池にはない強みがあります。加えて、主原料のヨウ素のシェアの3割を日本が占め、今年3月には、積水化学が国内初の販売を開始しており、国も約1,600億円を補助して量産化を支援するなど、日本の「勝ち筋」が見えてきています。



今の時代をお預かりしている私達には、「日本列島を、強く豊かに」して、次世代につないでいく責任があります。リスクを取って未来を切り拓く姿勢を若い世代にも示していくことで、日本を「チャレンジできる国」にする。それこそが「責任ある積極財政」の本質だと考えています。

### 千葉のポテンシャル(成田空港拡張ほか)

**臼井正一** 最後に、地元千葉県のポテンシャルについてお聞きします。成田空港は今、まさに再拡張のただ中にあり、貨物・物流拠点としての機能強化は日本の経済安全保障そのものに直結します。この利活用をどう国家戦略に組み込んでいくか、大臣のお考えをお聞かせいただきたい。

あわせて、空港周辺をはじめとした産業用地と農地の再編成です。担い手不足が進む農地を漫然と維持するのではなく、成長産業の受け皿として戦略的に組み替えていく。この実現性について、財政面からどう後押しできるか伺います。

そして、これらの開発が進めば当然、電力需要は増大します。データセンターや先端産業の集積を見据え、安定的な電力供給体制をどう構築していくか。千葉県が日本の成長エンジンとなるための所見をお聞かせください。

**片山大臣** 成田空港は、日本においてインバウンドの最大のゲートウェイであるとともに、金額ベースで最大の貿易港でもあります。まさに、世界の活力を人流・物流の両面から取り込む、日本の「成長エンジン」です。

さらに、現在進められている、C滑走路新設などが実現すれば、年間発着容量が34万回から50万回へと大幅に増加する見込みであり、この「第2の開港」ともいうべき千載一遇のチャンスを、日本の産業競争力の強化やサプライチェーンの強靭化に、しっかりとつなげていくことが重要です。

近隣のアジア諸国では、韓国の仁川空港やシンガポールのチャンギ空港をはじめ、官民一体で戦略的に空港の機能強化が進められており、空港間競争が熾烈化しています。日本も「国家プロジェクト」として成田空港の機能強化を進めるため、7月から関係府省庁連絡会議を立ち上げました。財務省としても、新貨物地区に「航空貨物検査センター」を設置する構想をお示ししたところであり、今後、懇談会を開催し、官民一体で国際物流の迅速化とリスク管理を進めていきます。

また、うすいさんがおっしゃるように、空港周辺の土地の再編も含めて、成長産業の集積を戦略的に進めていくことも重要です。




例えば、需要の拡大が見込まれる航空機整備(MRO)産業については、JALやANAなどが設計を進める、国内初の大型エンジン試運転施設などの大規模投資を核として、官民一体で、クラスター形成を推進していきます。

成田空港近隣の印西市は、空港や都心へのアクセスが良く、地盤が固いため災害リスクが低い、といった利点を生かして、世界中からデータセンター投資を呼び込んでおり、Googleをはじめとした、30棟以上のデータセンターが立ち並ぶ「データセンター銀座」となっています。

さらに、今月(10月)には、千葉火力発電所(千葉市)の敷地内に、アジア最大規模のAIデータセンターを建設する、総額2.3兆円の投資計画も発表されました。

政府としても、こうした積極的な民間投資を財政面から後押ししていくために、今年度の税制改正で「大胆な投資促進税制」を創設し、国内の高付加価値な設備投資について、即時償却や税額控除の対象としました。

また、うすいさんのご指摘のとおり、投資拡大による電力需給の逼迫も見込まれるため、グリーンイノベーション基金による脱炭素電源の研究開発支援、GXサプライチェーン構築支援事業による脱炭素電源の量産化支援、GX地域共創補助金によるデータセンターなどの脱炭素電源活用支援といった財政支援により、安定的な電力供給体制の確保と、電力システムの脱炭素化を、両立させていきます。

こうした取組について、千葉県とも連携しつつ官民が一体となって推進することで、千葉県を日本の成長エンジンへと成長させていくべく、密に連携をとって取り組んでいきましょう。

## ご挨拶

一連の水害により犠牲となられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、国・県・市町村をはじめ、消防職団員、警察、自衛隊、建設・土木関係者、JRなどの鉄道事業者、代行輸送の確保にご尽力いただいた日本バス協会及びバス事業者、東京電力をはじめとする電力・ガス・水道・通信などのライフライン事業者、医療・福祉関係者、地域団体、ボランティアなど、被災者支援や復旧・復興に昼夜を問わずご尽力いただいている全ての皆様に、心から感謝と敬意を表します。激甚化する自然災害を前に、国土強靱化の取り組みと防災・減災体制の強化は、待ったなしの課題です。国土交通委員会においても、被災地の声を国政に届け、一日も早い復旧・復興と災害に強い国土づくりに全力で取り組んでまいります。

過去1年を振り返れば、議院運営委員会理事として、また国会対策副委員長として、高い緊張感のもと、国会運営を中心とする日々を過ごしてまいりました。非常に勉強になる日々でしたが、この経験を糧に、これからは国会運営に加え、政策実現への取り組みと地元活動にも一層力を注いでまいります。

今回の一連の水害については、国土交通委員会で政府の対応を問うとともに、復旧・復興に向けた取り組みを進めてまいります。国会質疑の模様は、裏面の二次元コードから順次ご覧いただけます。

皆様の旧に倍するご指導ご支援を心からお願い申し上げます。

参議院議員 臼井正一

# 国土交通委員会質疑

# 被災地の声を国政へ！復旧・復興に全力！



写真は9月25日自由民主党災害対策特別委員会における発言時のもの。

## うすい正一の国土交通委員会質疑

一連の豪雨災害で甚大な被害を受けた千葉県。被災地の声を国政に届け、一日も早い復旧・復興と災害に強い国土づくりを目指し、国土交通委員会で政府の対応を問うこととしています。質疑の模様は、二次元コードから順次ご覧いただけます。

国土交通委員会質疑
動画・内容はこちら
（順次公開）

- 災害対応力の強化とTEC-FORCEの充実
- 地域の復旧を担う建設業への支援
- 印旛沼の堤防決壊の原因究明と治水対策
- 鉄道不通時の代替交通の確保
- 浸水被害に伴う電気料金負担への対応
- 被災地の早期復旧と再度災害の防止
- 防災・減災、国土強靱化の推進

# 5大臣との被災地視察報告

## 1 鈴木憲和農林水産大臣（当時）

視察日：8月19日（水）



鈴木憲和農林水産大臣に同行し、千葉市若葉区、八街市、JA富里市で豪雨による農業被害の実態を視察。




八街市では、被災農家の営農再開や経営再建に向けた課題について意見交換。

## 2 赤間防災担当大臣（当時）

視察日：8月21日（金）



赤間防災担当大臣に同行し、千葉市緑区越智の旧外房有料道路で発生した土砂崩落現場を視察。



千葉市役所では、浸水被害を受けて移送された車両の状況を確認。

## 3 井林辰憲国土交通大臣

視察日：10月4日（日）



井林辰憲国土交通大臣に同行し、堤防が決壊した印旛沼の被災状況を視察。



佐倉市の土砂流出現場や千葉市内の浸水対策施設、道路の被災箇所などを確認。

## 4 細野豪志防災担当大臣

視察日：10月11日（日）



細野豪志防災担当大臣に同行し、JR内房線不通の原因となった土砂災害現場を視察。



JR内房線と県道袖ケ浦姉ヶ崎停車場線の被災現場を視察し、地域交通への深刻な影響を確認。

## 5 武部新農林水産大臣

視察日：10月25日（日）



山腹崩落の被害を受けた長南中学校隣接地を訪問。奇跡的に校舎等への直接被害は無かったものの、再発防止の視点での復旧が急務。



印旛沼漁協を視察。養殖ウナギ約5万匹が流出した被災現場で、施設の早期復旧と生業の再建を大臣に要望。

# 一連の水害が激甚災害（本激）の指定対象に！

| | 人的被害（人） | | | 住家被害（件） | | | | | 避難者数（人） | | 停電（軒） | | 断水（戸） | | 農林水産業被害額（円） | 道　路 | 鉄　道 | 河川・湖沼 | その他の主な被害 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 死者 | 行方不明者 | 負傷者 | 全壊 | 半壊 | 床上浸水 | 床下浸水 | 一部損壊 | 最大 | 現在 | 最大 | 現在 | 最大 | 現在 | | | | | |
| 千葉豪雨 | 13 | 0 | 47 | 18 | 3,489 | 1,096 | 3,813 | 362 | 4,134 | 5 | 25,920 | 0 | 100 | 0 | 約82億8千万 | ・高速道路：2路線12区間で被災（復旧済）<br>・国道：最大6区間で冠水により通行規制（復旧済）<br>・県道：最大8区間で通行規制（復旧済） | ・JR線は外房線誉田駅～大網駅間が8月22日まで不通。<br>※千葉都市モノレールは臨時列車を運行、帰宅困難者の運搬に寄与。<br>・小湊鉄道線（里見駅～上総中野駅間）土砂流入等。 | 5河川において浸水被害。（浸水解消済） | 排水が追い付かないことで内水氾濫が発生。 |
| 台風24号 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 529 | - | 1,490 | 0 | - | - | 約1億9千万 | ・高速道路：東金JCT～大網白里SICで土砂流入（復旧済） | ・JR内房線：江見駅～太海駅間 土砂流入（復旧済）<br>・小湊鉄道：飯給駅～月崎駅間 土砂流入等（復旧済） | - | - |
| 台風25号 | 10 | 0 | 37 | 103 | 642 | 449 | 1,097 | 654 | 1,474 | 83 | 47,860 | 40 | 4,380 | 0 | 約256億 | ・国道127号：土砂流入（現在も通行規制）<br>・国道409・410号：法面崩落等（現在も通行規制）<br>・県道：最大74区間通行規制（現在も40区間以上で通行規制） | ・JR内房線 姉ケ崎～長浦間等にて土砂等流入、運休が継続中（11月9日復旧見込み）<br>・JR総武線：八街～日向間 路盤流出（復旧済）<br>・JR久留里線：盛土崩壊等。久留里～上総亀山間は、廃線方針及び復旧工事に要する期間等を踏まえ、復旧工事を実施しない方針。<br>・小湊鉄道：上総牛久～上総中野間 路盤流出等（復旧見通し立たず） | 北印旛沼及び角川で堤防が決壊。周辺で大規模な浸水被害が発生。 | 土砂災害が発生。人命住宅等に甚大な被害。 |
| 計 | 23 | 0 | 86 | 121 | 4,131 | 1,545 | 4,913 | 1,019 | 6,137 | 88 | 75,270 | 40 | 4,480 | 0 | 約340億 | - | - | - | - |

※10月19日時点で確認できた範囲のデータです。合計欄は各災害の公表値を単純合算した参考値であり、避難者数・停電・断水の合計は、同時点における最大数を示すものではありません。

## 激甚災害について

激甚災害（本激）の指定・指定見込みにより、復旧・復興に向けた国の財政支援が強化されます。

**【指定済み・指定見込みの主な分野】**

**道路・河川等の公共土木施設、農地・農業用施設（農道・用排水路等）、林道、公立学校・公営住宅等、農林水産業の共同利用施設、公立社会教育施設、私立学校施設、感染症予防事業など。**

※分野ごとに正式指定と指定見込みの段階が異なります。10月9日公表分には追加指定見込みが含まれます。

**激甚災害とは？**

大規模な災害の復旧を支援するため、国が特別な財政措置を講じる制度です。道路・河川や農地などの復旧事業に対する国の補助率が引き上げられるなど、被災自治体の財政負担が軽減され、復旧を進めやすくなります。

**「本激」とは？**

特定の市町村だけでなく、災害そのものを全国規模で指定する仕組みです。ただし、すべての被害が自動的に支援対象となるわけではなく、適用措置ごとに条件があります。

# 教えて!! 専門用語 Vol.9 参議院の英語表記変更！

これまで参議院は英語で「House of Councillors」、参議院議員は「Member of the House of Councillors」と表記されてきました。

しかし、衆議院の「House of Representatives」に対し、参議院の英語名称は外国の方々に分かりにくいという課題がありました。また、「Councillor」は国や地域によって地方議会議員などを意味することもあり、参議院議員の立場が正確に伝わらない場合もあります。

そこで、令和8年7月23日の参議院議院運営委員会理事会において、参議院の英語表記を「Senate」、参議院議員を「Senator」とすることが決定されました。令和8年10月以降、新しい表記が使用されています。

私も議院運営委員会の理事として、この議論に関わりました。

**名は体を表す――参議院の役割を世界に正しく伝える、小さくも大事な改革です。**

過去分のレポートはこちらから



参議院議院運営委員会とイタリアのチリエッリ外務副大臣との記念撮影。